

2014年10月20日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

播磨事業所の硫酸ニッケル増産について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 中里佳明）は、播磨事業所（兵庫県加古郡播磨町）において硫酸ニッケル増産のための生産設備の増強投資を行うことといたしました。

当社は、ニッケル工場（愛媛県新居浜市）において二次電池用正極材料や一般めっき向けとして硫酸ニッケルを年間 25,000 トン生産してきましたが、車載用二次電池向け需要の高まりを受け、新たに播磨事業所にて年間生産能力 20,000 トンの硫酸ニッケル生産設備を建設し、2014年1月から生産を開始いたしました。

当社では、益々拡大する電気自動車需要に対応すべく、このたび車載用二次電池向け正極材料であるニッケル酸リチウムの増産を決定しましたが（詳細は、本日付発表「二次電池用正極材料（ニッケル酸リチウム）増産について」参照）、その原料となる硫酸ニッケルについても増産をはかるべく播磨事業所にて生産設備の増強投資を行うこととしました。設備投資額は総額約 50 億円で、増強工事は、2016年10月完成を予定しています。

これにより、播磨事業所の硫酸ニッケル生産能力は、25,000 トン増加して、年産 45,000 トンとなり、当社の硫酸ニッケル生産能力はニッケル工場とあわせて年間 70,000 トンとなります。

当社は、ニッケルの原料鉱石から精錬・加工までを一貫して手掛けている強みを活かし、電池材料の安定供給に取り組んでまいります。

（本件に関するお問い合わせ先）

広報 IR 部 高橋 雅史

TEL：03-3436-7705

FAX：03-3434-2215